

CDPとESG投資

高崎経済大学 教授
水口 剛

ありがちな質問

(CDPのデータ)

- 誰が見て(使って)いるのか
- それで株価が上がるのか？

わかりやすい答え

(CDPのデータ)

- 誰が見て(使って)いるのか

→ 投資家

- それで株価が上がるのか？

→ 可能性はある。

ESG投資の評価に利用されるため

(例) ESG指数

実は、それ以上の意味があるのではないか？

→ 資本主義のルールの変化

制度と規範(ルール)

<広義の制度>

規範
慣習
価値観



人々の行動を規定

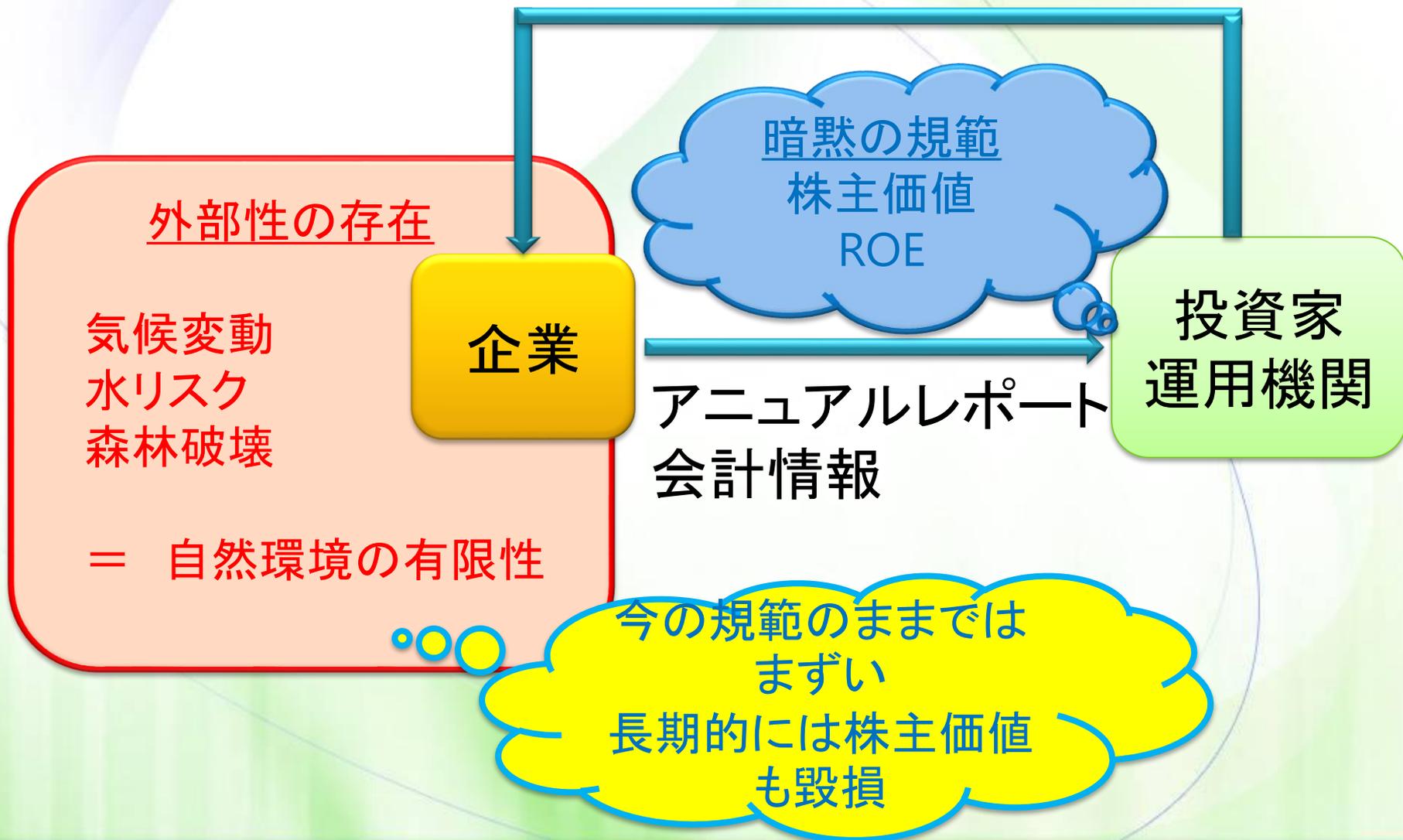


影響

法律制度・民間による自主的仕組み

従来支配的だった暗黙のルール

投資判断



目指すべき社会

環境(自然資本)
が守られる

貧困・不平等が
ない

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



経済活動が安定
する

資本概念の拡張

財務資本

知的資本

社会・関係資本

自然資本

私有されない資本
システムティックに
毀損される

CDPIは自然資本に対する
取組みを可視化

ESG投資の経緯と現状

- 2006年、責任投資原則（PRI）公表
- ESG（環境、社会、ガバナンス）の要素を投資の分析と意思決定、株主行動に組み込むことを宣言
- 2017年3月時点で、約1700機関（運用資産総額62兆ドル）が署名。
- 2015年、日本の年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）がPRIに署名
- 2017年、GPIFがESG指数の採択を発表

国別のPRI署名機関数

アセット・オーナー			運用機関		
国名	機関数	比率(%)	国名	数	比率(%)
イギリス	46	13.3	アメリカ	244	21.2
オランダ	43	12.5	イギリス	163	14.2
オーストラリア	34	9.8	フランス	133	11.6
カナダ	31	9.0	オーストラリア	74	6.4
アメリカ	31	9.0	オランダ・カナダ	51	4.4
小計	185	53.8	小計	665	58.0
日本	14	4.0	日本	30	2.6
全体	344	100.0	全体	1,146	100.0

出所: PRIウェブサイトより(2017年3月17日時点)

PRIへの署名状況(海外)

(公的年金・政府系基金)

ノルウェー政府年金基金、ABP、PGGM(オランダ)、AP1-AP4、AP7(スウェーデン)、ERAFP、FRR(フランス)、CalPERS、CalSTRS、NY州年金基金、NY市年金基金(アメリカ)、イギリス環境庁年金基金、等

(企業年金)

BT、BP、ユニリーバ、BBC、M&S(マークス・アンド・スペンサー)、シェル、アビバ、バークレイ、USS(大学教員年金スキーム)、SAUL(ロンドン大学職員年金制度)

世界のPRI署名機関1704件、うちアセットオーナー344件
出所:PRIHPより、一部抜粋、2017年4月25日現在

PRIへの署名状況(国内)

(年金等)

GPIF、企業年金連合会

セコム、キッコーマン、上智大学

(保険・金融)

損保ジャパン、太陽生命、日本生命、日本政策投資銀行、大同生命、富国生命、第一生命、MS&AD、東京海上日動、労働金庫連合会

日本のPRI署名機関55件、うちアセットオーナー15件
出所：PRIHPより、一部抜粋、2017年9月30日現在

ESG投資の方法

アクティブ運用

- ・**スクリーニング**: ESGレーティングを投資先の選別に反映
- ・**インテグレーション**: 通常の財務分析でESG要因を考慮
- ・**エンゲージメント**: 株主としてESGへの対応・改善を要望

パッシブ運用

- ・**ESG指数**: ESGレーティングを反映した株価指数
- ・**エンゲージメント**: 株主としてESGへの対応・改善を要望

ESG投資による変化

インテグレーション・エンゲージメント・ESG指数



結論1

[新しい資本主義のルール]

サステナブル金融システム

- ・自然資本や社会関係資本も維持する
→ 将来の経済活動の基盤にも責任を持つ
- ・評価・選別だけでなく、エンゲージメント
- ・長期的な資産価値の拡大を目指す

規範の ↑ 創出

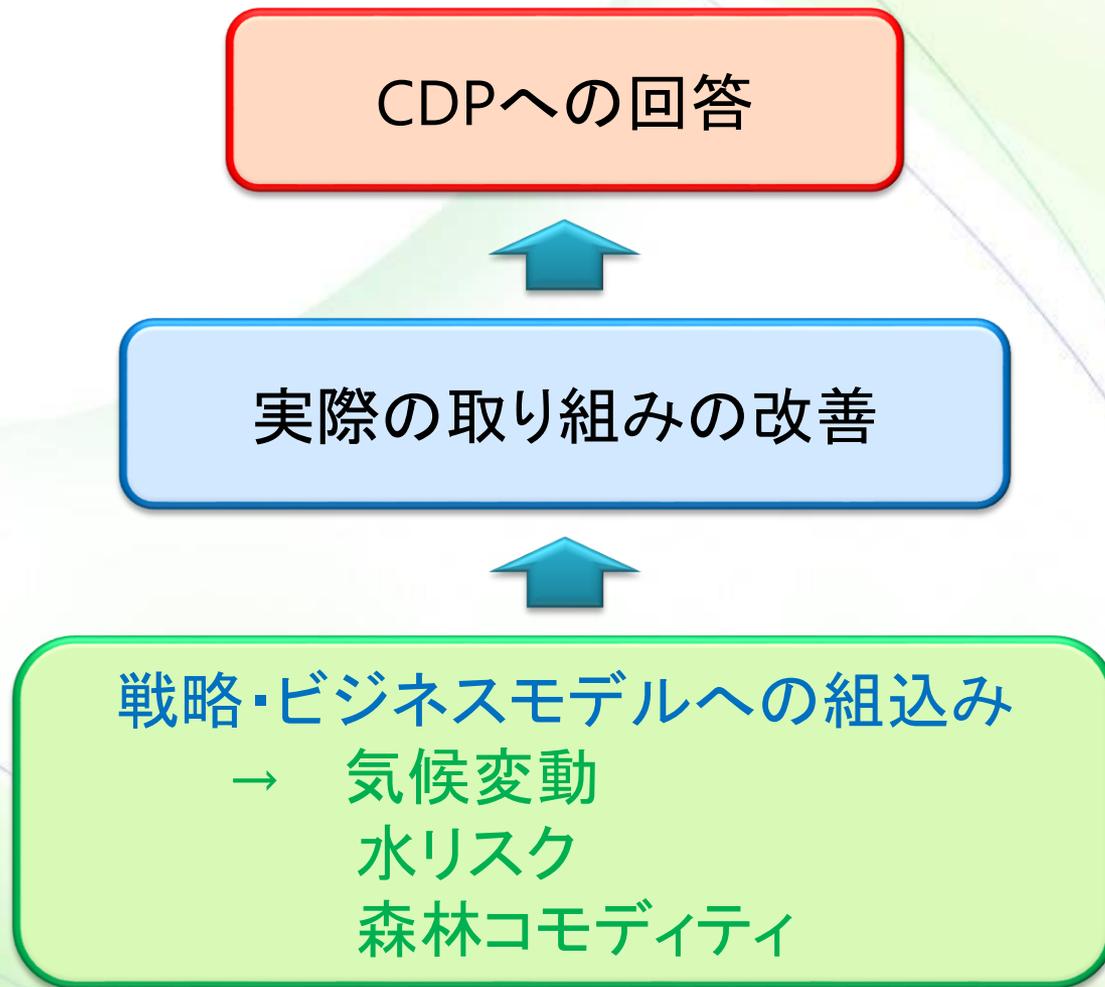
CDPに回答する
企業

情報
→
←
投資行動

規範の ↑ 創出

PRIに署名した機関
投資家

結論2



CDPへの回答

実際の取り組みの改善

戦略・ビジネスモデルへの組み込み
→ 気候変動
水リスク
森林コモディティ